

DACS-E350-LAN のUSB OTGポートに、DACSのUSBデバイスを接続して機能拡張を行うことができます。

(注1) この機能は DACS-E350-LAN のみで動作します。

(注2) 接続可能なUSBデバイスは1台のみです。

USBハブを使用することはできません。

(注3) 接続できるのはDACS製のUSBデバイスのみです。

接続可能なUSBデバイス

DACS-1500H、DACS-2500、DACS-2500K、DACS-8200 の各シリーズ製品。

1. 接続方法

DACS-E350-LAN の microUSBポート (USB OTG) J2 に、別売のOTGケーブル (USBOTG-100) を接続します。OTGケーブルの先は、USBのAコネクタが挿入できるようになっていますので、ここにUSBケーブル (A-B) を接続します。

DACS-E350-LAN は、電源投入時にのみUSBデバイスを検索しますので、USBデバイスを接続した状態で、DACS-E350の電源を入れてください。

2. 電源供給はバスパワー

DACS-E350-LAN の microUSBポート (USB OTG) より、接続したデバイスに電源を供給しますので、上記の接続可能なデバイスを使用する限り、拡張したデバイス用の電源を準備する必要はありません。

3. ID番号の設定

基板またはユニットのDIPスイッチによりID番号を設定します。

拡張接続するUSBデバイスのID番号は、DACS-E350-LAN のID番号とは異なる番号にします。たとえば、DACS-E350-LAN のID番号を0番としているとすると、拡張接続するUSBデバイスのID番号は1番～15番のいずれかを設定するようにします。

4. 動作

パソコンから送受信するコマンドとレスポンスの文字列は、各デバイスのUSBデータ送受信仕様と同じです。

たとえば USBデバイスのID番号を1としている場合のデジタル出力コマンドは

W1002000☒、これに対する応答は R1000200☒ などのようになります。

カウンタ、PWM出力、モーションコントローラ、AD変換、DA変換などの機能についても、各デバイスのデータ送受信と同じ文字列の送受信動作となります。

販売

ダックス技研株式会社

ホームページ <http://www.dacs-giken.co.jp>